

令和7年度第46回
東京都トラック協会ドライバー・コンテスト
学 科 競 技 問 題

【出題内容】

- I 法規：問1～問40
- II 構造機能：問41～問60
- III 運転常識：問61～問80

競技上の注意

この競技は、運転者に必要な関係法規やプロとしての一般的な知識について試験するものです。出題される法令問題は、令和7年4月1日時点の現行の法令に基づき作成しています。

また、この試験は、11トン・4トン・2トン・女性およびトレーラ部門共通となっています。

注意事項

- ① 問題は全部で80問です。
- ② 制限時間は60分です。
- ③ 解答はすべて別紙の解答用紙に、「正しい」と思うものについて、解答用紙の同じ問番号の枠内に「○」印を、「誤っている」と思うものについては「×」印を次の要領により記載すること。(四肢選択式問題は「○」のみの記載でよい) なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

《例》

【四肢選択式問題】

選択肢				
問	1	2	3	4
1		○		
2			○	

【○×正誤式問題】

問	答
12	○
13	×
14	×

- ④ 解答用紙には鉛筆またはシャープペンを使用し、誤って記載した場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ⑤ 解答用紙には必ず競技部門、受験番号、氏名を記載すること。
- ⑥ この問題用紙は競技開始の合図があるまで開けないこと。
- ⑦ 印刷の不鮮明なところがあれば、着座のまま静かに手を挙げて係員に尋ねること。ただし、問題の内容に触れるものには回答しない。
- ⑧ 問題用紙にメモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は、学科競技時間終了後に選手が持ち帰ること。なお、学科競技時間中に問題用紙を教室外へ持ち出す行為は認めないものとする。
- ⑨ 競技開始30分経過後から退席することができる。退席可能時間になった際に係員より告知を行う。退席する場合、問題用紙は机の上に伏せて置いていき、解答用紙を壇上へ提出し、他の選手のじゃまにならないよう静かに退席すること。なお、一度退席した者については競技時間中の再入室は認めない。
- ⑩ 終了時間については、終了5分前に係員より予告を行う。

令和7年4月24日（木）
於 東京都トラック総合会館

「いま」を支える。「みらい」をつくる。

I 法規

【四肢択一式問題】

問1. 次のア～ウの（ ）内に「5」の数字が入るものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 消防用機械器具の置場もしくは消防用防火水槽の側端又はこれらの道路に接する出入口から（ ）メートル以内の部分は駐車禁止である。
- イ. 交差点の側端または道路の曲がり角から（ ）メートル以内の場所は駐停車禁止である。
- ウ. 横断歩道又は自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に（ ）メートル以内の部分は駐停車禁止である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 無し

問2. 歩行者の保護等に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 信号機のない横断歩道の直前で停止している車があるときは、その側方を通過して前方に出るときは一時停止しなければならない。
- イ. 歩道と車道の区別のない道路を通行する場合、歩行者のそばを通行するときは、安全な間隔をあけるか、又は徐行しなければならない。
- ウ. 道路の左側部分に設けられた安全地帯の側方の通過時において、安全地帯に歩行者がいないときは徐行する必要はない。
- エ. 乗客の乗降のため停車中の路面電車に追いついたとき、当該路面電車に乗降する者がいない場合で当該路面電車の左側に当該路面電車から 1.5 メートル以上の間隔を保つことができるときは、徐行して当該路面電車の左側を通過することができる。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問3. 追越しに関する次のア～エの記述のうち、誤っているものをひとつ選び、解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 勾配の急な上り坂や下り坂は追越し禁止である。
- イ. 横断歩道の手前の側端から前に 30 メートル以内の場所は追越し禁止である。
- ウ. 道路のまがりかど附近では追越しは禁止されている。
- エ. 交差点の手前の側端から前に 30 メートル以内の部分は追越し禁止である。

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

問4. 徐行に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものをひとつ選び、解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 道路交通法において「徐行」とは車両等がただちに停止することができるような速度で進行することをいう。
- イ. 優先道路を通行している場合でも、左右の見通しのきかない交差点では徐行して進行しなければならない。
- ウ. 上り坂の頂上附近を通行するときは徐行しなければならない。
- エ. 歩道と車道の区別のない道路を通行する場合その他の場合において、歩行者の側方通過時に安全な間隔がとれないときは徐行して進行する

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

【○×正誤式問題】

問5. この標識のある場所は、道幅が2. 2mであることを表している。



問6. この標識は最大積載量5. 5トンを超える車は通行できないことを示している。



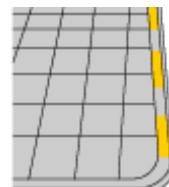
問7. この標識は、その先の道路の幅員が減少することを示している。



問8. この標識（マーク）は、肢体が不自由である人が運転していることを示している。



問9. この標示の場所では停車はできるが駐車は禁止である。



問10. この標識はその先の路面がすべりやすいことを示している。



問1 1. 自動車は、右折するときはあらかじめその前からできる限り道路の中央に寄り、かつ、交差点の中心の直近の外側（道路標識等により通行すべき部分が指定されているときは、その指定された部分）を徐行しなければならない。

問1 2. 火災報知器から1メートル以内の場所は駐車禁止である。

問1 3. 車両は、交差点またはその直近で横断歩道の設けられていない場所においては、横断している歩行者を優先する義務はない。

問1 4. 右または左へ車線変更をするときは、その行為をしようとする3秒前に合図を開始する。

問1 5. 左折や右折をする際の方向指示器での合図は、その行為を開始すればただちに消しても差し支えない。

問1 6. 駐車禁止の規制のある一方通行の道路で、道路の右側に停車することは違反にならない。

問1 7. トンネルであっても、車両通行帯がある場合は駐停車できる。

問1 8. 妨害運転（あおり運転）によって高速自動車国道等において他の自動車を停止させ、その他道路における著しい交通の危険を生じさせた場合、3年以下の懲役または50万円以下の罰金が科される。

問1 9. 他の車両にけん引される場合は夜間でも前照灯はつけなくてもよい。

問2 0. 前車がその前を進行している原動機付自転車を追い越そうとしているときにその前車を追い越すのは二重追い越しの違反である。

問2 1. 自動車への積載物の長さの上限は、自動車の長さにその長さの10分の1を加えたものである。

問2 2. 道路交通法における「車両」の定義に自転車は含まれない。

問2 3. 貨物が分割できないものであるため政令で定める積載重量制限を超えてしまう場合、管轄する地域の運輸支局長の許可を得た場合は制限を超える積載をして運行できる。

問2 4. 路側帯とは歩行者及び自転車の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた帯状の道路の部分で、道路標示によって区画された部分である。

問2 5. すべての路側帯の幅員は0.45メートル以上である。

問2 6. 高速自動車国道における大型トラックの最高速度は時速80キロである。

問2 7. 交差点を右左折するときは、横断歩行者等がない場合でも徐行して進行する。

問2 8. 酒酔い運転の違反点数は13点である。

問2 9. 車両等は、信号機が赤色の灯火を表示しているときは、停止位置を超えて進行してはならない。ただし、交差点において既に右折している車両等はそのまま進行することができる。

問3 0. 道路の左側の部分の幅員が5メートルの道路では、他の車両を追い越すために道路の右側にはみ出して通行してよい。（道路の右側部分を見通すことができ、反対方向からの交通を妨げるおそれがない場合。また道路標識等により追越しのため右側部分にはみ出して通行することが禁止されている場合を除く）

問3 1. 貨物の積み卸しのため10分間車を停止させたが、これは「駐車」ではなく「停車」にあたる。

問3 2. 道路交通法に定める自動車の種類について、「乗車定員3人、最大積載量3,000キログラム、車両総重量5,955キログラム」の貨物自動車は準中型自動車に該当する。

問3 3. 警察官等が手信号によって交通整理を行っている場合、黄色や赤の信号機と同じ意味の手信号を示しているときはその警察官等の1メートル手前の場所が停止位置となる。

問3 4. 道路標識等により最低速度が指定されていない高速自動車国道の本線車道における最低速度は時速50kmである。

問3 5. 車両は、他の車両を追い越そうとするときは、その追い越されようとする車両（以下「前車」）の右側を通行しなければならない。ただし、前車が法令の規定により右折をするため道路の中央または右側端に寄って通行しているときは、前車を追い越してはならない。

問3 6. 車両は、道路外の施設に出入するため歩道を横断するとき、近くに歩行者がいることが明らかであるときでも歩道に入る直前で一時停止しなければならない。

問3 7. 車両は、踏切を通過しようとするときは、信号機の表示にしたがうときでも必ず踏切の直前で停止してから進行しなければならない。

問3 8. 道路工事が行われている場合における当該工事区域の側端から5メートル以内の部分は駐停車禁止である。

問3 9. 白い実線が2本引かれた路側帯は「歩行者用路側帯」であり、車両はその路側帯において駐停車禁止である。

問4 0. 道路交通法に定める夜間停止表示器材について、板状の器材の場合、路面上に垂直に設置できるものであり、反射光の色は赤色または紫色でなければならない。

II 構造機能（20問）

【四肢折一式問題】

問41. 自動車に備える後部反射器に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する番号の欄に○を付けなさい。

- ア. 後部反射器は、夜間に自動車の後方にある他の交通に当該自動車の位置を示すことができるものとして、反射光の色、明るさ、反射部の形状等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない。
- イ. 後部反射器（被牽引自動車に備えるものを除く。）の反射部は、三角形以外の形状であること。
- ウ. 後部反射器は、夜間にその後方 150m の距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであること。
- エ. 後部反射器による反射光の色は、赤色であること。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問42. 次の文章の(A)(B)(C)に入る数字の組み合わせとして正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ（セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離）(A)メートル（セミトレーラのうち告示で定めるものにあっては、13メートル）、幅(B)メートル、高さ(C)メートルを超えてはならない。

	(A)	(B)	(C)
1	10 ×	2.3 ×	3.6 ×
2	12 ○	2.5 ○	3.8 ○
3	10 ×	2.5 ○	3.6 ○
4	12 ○	2.3 ×	3.8 ○

問4 3. タイヤの日常点検に関する次のア～エの記述うち、正しいものはいくつあるか。

解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 点検・測定及び充填は、必ずタイヤが冷えているときに行う。
- イ. タイヤの溝の深さの点検は、その自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行えばよい。
- ウ. タイヤの空気圧の点検は週に1度程度を目安に行う。
- エ. タイヤのスリップサイン（摩耗限度表示）は、残り溝が1.4 mmになると現れて交換時期を示すので、適切なタイヤに交換する。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問44. 方向指示器に関する次のア～ウの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

ア. 方向指示器は、毎分 60 回以上 120 回以下の一定の周期で点滅するものであること。

イ. 方向指示器の灯光の色は橙色または黄色であること。

ウ. 方向指示器は、方向の指示を表示する方向 100 メートルの位置から、昼間において点灯を確認できること。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 無し

【○×正誤式問題】

- 問4 5. 登録自動車の所有者は、登録されている所有者の氏名もしくは名称もしくは住所又は使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。
- 問4 6. 自動車の最小回転半径は、最外側のわだちについて10メートル以下でなければならぬ。
- 問4 7. 自動車に備えなければならない非常信号用具は、夜間100mの距離から確認できる赤色の灯光を発するものでなければならない。
- 問4 8. 多くのトラックに用いられているディーゼルエンジンはガソリンエンジンと比べて熱効率が高いが、ガソリンエンジンの熱効率が24～28%なのに対し、ディーゼルエンジンのそれは30～34%と言われている。
- 問4 9. 道路運送車両の保安基準において、「空車状態」とは、原動機及び燃料装置に燃料、潤滑油、冷却水等の一切を搭載せず、当該車両の目的とする用途に必要な固定的な設備のみを装備した状態をいう。
- 問5 0. 道路運送車両の保安基準において、自動車の安定性は、空車状態において左側および右側にそれぞれ35°（車両総重量が車両重量の1.2倍以下の自動車又は積車状態における車両の重心の高さが空車状態における車両の重心の高さ以下の自動車にあっては30°）まで傾けた場合に転覆しないことが求められる。
- 問5 1. 自動車を運転する際、検査標章を表示していれば、自動車検査証は事務所や自宅にて保管していくよい。
- 問5 2. 走行用前照灯はそのすべてを照射したときには、夜間にその前方100mの距離にある交通上の障害物を確認できるものでなければならない。
- 問5 3. 衝突被害軽減ブレーキ等の自動運転技術等に用いられる電子制御装置の目に見えない故障に対応するため、令和6年10月から車検時に電子的な検査（OBD検査）が開始された。

問5 4. 法令で定める自動車の日常点検項目には、「エア・タンクに凝水がないこと」が含まれる。

問5 5. 車両総重量＝車両重量＋乗車定員×55kg＋最大積載量 である。

問5 6. 事業用トラックに義務づけられる定期点検は、いわゆる「2ヶ月点検」と「12ヶ月点検」である。

問5 7. タイヤの溝の深さが十分でないことは、ハイドロプレーニング現象をおこす要因になる。

問5 8. 車検の受検について、残存する旧車検証の有効期間を失うことなく新車検証に更新できる期間は、車検証の有効期間満了日の2ヶ月前から満了日までの間である。

問5 9. タイヤ交換をしたときは、初期なじみのためタイヤ交換後50～100キロメートルを目安にナットの増し締めを実施するとよい。

問6 0. 暗闇や太陽の逆光、雨などのほかに、既定のスピードを超えて走行することも衝突被害軽減ブレーキの適切な作動を妨げる要因になる。

III 運転常識

【四肢折一式問題】

問6 1. 次のア～エの記述のうち、貨物自動車運送事業輸送安全規則において定められる「事業用自動車の運転者が遵守すべき事項」として、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 道路運送車両法の規定による点検（日常点検）を実施し、又はその確認をすること。
- イ. 酒気を帯びた状態にあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出ること。
- ウ. 運行指示書を乗務中携行し、記載事項に変更が生じた場合に変更の内容を記載すること。
- エ. 踏切を通過するときは、制動装置を操作しないこと。

- 1 一つ
2 二つ
3 三つ
4 四つ

問6 2. 緊急時の措置に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはどれか。

解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 走行中にエンジンの回転数が上がった後、故障などにより下がらなくなったときは、四輪車の場合はギアをニュートラルにして車輪にエンジンの力をかけないようにしながら路肩など安全な場所に行き、そこで停止した後にエンジンスイッチを切る。
- イ. 走行中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り、車の方向を直すことに全力を傾ける。急ブレーキは避け、断続的にブレーキを踏んで止める。
- ウ. 後輪が横滑りを始めた時は、ブレーキをかけず、まずアクセルを緩め、同時にハンドルで車の向きを立て直す。後輪が左に滑ったときはハンドルを右に切る。
- エ. 下り坂などでブレーキがきかなくなった時は、手早く原則チェンジをし、ハンドブレーキを引く。それでも停止しないときは、山側の溝に車輪を落としたり、ガードレールに車体をすり寄せたりして止める。

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

問6 3. 坂道・カーブの走行に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。

解答用紙の該当する欄に○印をつけなさい。

ア. カーブでハンドルを切った際働く遠心力は、自動車の重心に働く。

イ. カーブを回る際、速度が2倍になると、遠心力は4倍になる。

ウ. 近くに待避所のない坂道ですれ違いが難しいときは、上りの車が下りの車に道を譲る。

エ. 下り坂ではフットブレーキをこまめに使いながら速度を調節する。

1 一つ

2 二つ

3 三つ

4 四つ

問6 4. 交通事故や故障、災害時等に関する次のア～ウの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

ア. 交通事故が起きたときに運転者や乗務員が警察官に報告義務がある事項は「事故が発生した日時・場所」、「死傷者の数および負傷者の負傷の程度」、「交通事故について講じた措置」の3点である。

イ. 高速道路において故障等で車を運転することができなくなった場合でも、道路上に出るのは危険なので車内で救援を待つ。

ウ. 大地震が発生したとき、やむを得ず車を道路上に置いて避難するときは、できるだけ道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、キーは付けたままとするか運転席などの車内のわかりやすい場所に置いておく。窓は開け、ドアはロックしない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 無し

【○×正誤式問題】

問6 5. タイヤがすり減っていると路面とタイヤの摩擦抵抗は小さくなり、制動距離は長くなるが空走距離には影響しない。

問6 6. 運転中、色彩まで確認できる視野は左右それぞれ35度くらいまでである。

問6 7. 大型トラックの自動運転は公道（高速道路）において自動運転レベル4までの実証実験が進められているが、この「自動運転レベル4」とは、特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態と定義されている。

問6 8. トラック運転者の一日の拘束時間は原則13時間まで、延長する場合も最大で15時間までである。（1週間における運行が全て長距離貨物運送（450km以上）で、かつ、一の運行における休息期間が住所地以外の場所である場合を除く）

問6 9. 風速30m/s以上の風が吹いている場合は走行中のトラックが横転する危険性が高いので、輸送をすることは適切ではない。

問7 0. じやり道は舗装道路にくらべて摩擦力が大きい。

問7 1. 運転中の疲労は手足にもっとも強く現れ、ハンドルやブレーキ操作が遅れたりする。

問7 2. 過積載で走行すると通常より重量が大きくなるため、ブレーキへの負担も通常より大きくなることから、ブレーキを多用する可能性も高まり、フェード現象が起こる可能性も高まる。

問7 3. 大型・中型・準中型免許を取得するのに必要とされる視力は、両眼で0.8以上かつ、一眼でそれぞれ0.5以上である。

問7 4. 車両等に積載している物が道路に転落し、または飛散したときは、必ず道路管理者に通報するものとし、当該道路管理者からの指示があるまでは転落し、飛散した物を除去してはならない。

問75. 夜間の運転では前照灯はハイビームを基本として走行することが推奨されているが(対向車や先行車がない場合)、照射距離はロービームでは前方約30メートル、ハイビームではおよそ70メートルである。

問76. 自動車を後退させようとするときの合図の開始時期は、その行為をしようとするときである。

問77. ぬかるみなどで車輪が空回りするときは、古毛布やじやりなどを滑り止めに使うと効果的である。

問78. 80キロメートル毎時で走行中の自動車の2秒間の走行距離は、約33メートルである。

問79. A営業所から90キロメートル離れた荷主工場まで往復したところ、25リットルの燃料を消費した。この場合の燃料消費率は3.6km/lである。

問80. 令和7年3月下旬よりマイナンバーカードと免許証の一体化が開始されたが(マイナ免許証)、その一体化免許証を持っていて必要な手続きをとると、免許証更新時の講習をオンライン受講できるようになった。(優良運転者、一般運転者のみ)